

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月4日	～	令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和8年2月4日	～	令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんのことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援の提供が出来るよう取り組んでいます。	・お子さんの発達に合わせた生活やあそびを通し、個々に合わせた関わりや環境作りに配慮し、お子さんの健やかな成長を支援します。 ・児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がチームで取り組み、その時々で最善と思う支援を提案しています。	・各職種、他職員間での対話を維持し(毎日の朝礼、夕礼、定期的な担当者会議など)、実践と振り返りを繰り返しながら、お子さんにとって最善の支援を模索していきます。 ・職員同士が対話しやすい関係～お互いの資質向上を目指していける関係を継続し、よりよい支援につなげます。
2	・活動内容や環境設定は、お子さんが安心、安全に過ごせることを第一に考えています。これを前提とし、お子さんの発達に合わせたあそび、心身ともに満足できる経験を通し、お子さんの力が最大限発揮出来るような支援に努めています。また、ご家族の方が一緒に楽しんだり、悩みを相談できる場所になるような取り組みを行っています。	・お子さんの成長をご家族と一緒に感じ、育児や療育についてお話しする機会を大切にしています。 ・お子さんが分かりやすく生活できるよう、支援や環境の構造化に取り組んでいます。(生活の流れを写真や絵カードを添えて示す。時間の見通しをタイムタイマーで知らせる。気持ちを出る手段を工夫する等) ・ペアレントトレーニングやご家族向けの相談室を設けています。	・日々の会話や子育てノート、懇談会を通じ、保護者との対話を大切に一緒に成長を喜び合える関係を継続していきます。 ・家族支援について、施設が伝えたいことを発信するとともに、何が求められているのかを再考したいです。 ・支援の考えた方や具体的な支援方法を探求すると共に、効果的な支援については、保護者や関係機関にも伝達し相互の支援スキルを上げて行けるよう取り組んでいます。
3	・市内の保育所や他の事業所と連携を取りながら支援を考えたり、交流したりしています。	・年に数回、地域の保育園のお子さんと、双方の園に行き来し交流しています。 ・市役所や保育所との連絡を取りながら、就園前～就園時の引継ぎ、事後訪問などを行います。 ・他事業所と併行利用されている方には、必要に応じて事業所間で連携し、支援内容を共有しています。	・地域園との交流は、回数は少ないが良い機会となっています。 ・今後も、ご家族のニーズを把握し、ご家族と関係機関をつなぐ役割が出来るよう取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設内・外において、補修や修理の必要な所が多い。 ・部屋の整理整頓、使い方に課題がある。	・施設内の老朽化が進んでいる箇所の修繕がスムーズに進まない部分があります。また、施設の構造上、目が届きにくかったり、整理整頓しにくい箇所があります。 ・利用されるお子さんや現在の支援方針に合わせ、必要な備品を見極め、物を減らし整頓する必要があります。	・月ごとに安全点検を行っており、修理等が必要な場合は早急に対策を考え事故につながらないようにしています。 ・今年度は照明器具のLED化が完了し、施設全体が明るくなりました。 ・限られた部屋を共有しながら、効果的な使い方、環境づくりに努めます。
2	・個別対応が必要な時に十分な職員体制が整いにくい。	・職員の休暇の保障をしながら、働きやすい職場作りを目指して労働環境を整えています。しかし、職員の体調不良、支援への悩みや個別の対応など、クラス担当のみで対応できない場面が多々あります。その為、本来他の業務を担う職員等が保育現場に入っていることもありました。 ・この結果、支援を深めたり、職員間の情報共有、整理整頓する時間が足りないと感じる場合があります。	・今年度は、毎日の職員体制を事前に調整し、センター内の職員が双方に介入できるようにしました。職員体制のフォローと共に、担当外のお子さんとの関わりから新たな気づきを得るなど前向きな捉えが出てきています。 ・各職員が役割を持ち、段階的にスキルアップし、成果を実感できるような取り組みは継続して必要です。
3	・施設のICT化が進んでいない。	・施設で使えるインターネット環境の整備は、今後の課題です。行事業内や、出欠確認は紙または電話連絡が主になっています。	・インターネットが使える環境は現時点で進んでいませんが、保護者が就労や家事の間に情報共有できるようなツールや、翻訳アプリの使用、教材づくりなど、業務効率の向上につながるような工夫をしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援センター
------	--------------------

公表日 令和8年3月27日

利用児童数 回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	3			○広いお庭や遊具、体育館がのびのび体を動かすことができている。 ○個々にあった遊びを提供して貰えるので十分だと思います。 ○園庭や遊戯室等活動のスペースは十分確保できている。 ○好き勝手やらせてもらって逆に申し訳ないです。	・ご意見ありがとうございます。 限られた空間の中ですが、安全な環境の中で、お子さんや保護者のみなさまに安心して過ごしていただけるよう、継続して整備していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	7		3	○先生のごと大好きすぎて、来年もそのままがいいです。 ●もし下の子の連れてしか参加できない時に、ボランティアさん以外のスタッフさんをお願いすることになるため、サポートをお願いできるとありがたいです。 ●利用者の人数が多いと足りなく感じる事もあるし、私自身が2人目を連れて行っているため手が足りなく感じる事がある。	・ごきょうだいと一緒に通園していただきありがとうございます。状況によっては、ご家族にご協力をお願いする場面が多くなり心苦しく思います。 現状では、ごきょうだいの託児は、ボランティアさんや職員が対応しています。また、ごきょうだいと一緒に活動に参加できるような場面を作るようにしています。 ・ボランティアさんの募集は継続しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31			1	○給食時に自分の椅子を探してちゃんと座るが出来るため。	・お子さんの「出来た」につながり、嬉しいです。お子さんが生活の場で、自分の力を発揮できるよう、情報を整頓しながら、絵カードやマークを用いた支援を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30			2	○いつも掃除が行き届いていて、いつ掃除してるか知りたいほど	・掃除はお子さんの降園後に行っています。玩具の使用後はアルコール消毒等しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32				○歩行がおぼつかないくらいまで成長した。 ○毎回わかりやすくアドバイスして頂けます。子供がいまどの段階かそれにはこうしたほうがいいととても細かいです！！ ○家での困り事親身になって対策考えてもらえて嬉しいかったです。	・普段から、お子さんのこと、ご家庭の様子や、ご家族のお気持ちなどを聞かせていただき感謝しています。 これからも、お話を伺いながら、よりよい支援をご提案出来るよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			2	●見える化になって何が良くなるのがよくわかってない。	・重要事項説明の際に、「支援プログラム」をご紹介しております。事業所が示す支援内容に加え、「支援の見える化」の具体的な事柄等も、支援の中でご説明させていただきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1				・お子さんとご家族の立場に立った視点で、児童発達支援責任者が中心となり、個別支援計画を立案し、職員間で共有しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1			○分かりやすいと思う。	・ニーズの変化や支援内容の見直しなどにも対応しながら、その時々に応じた支援を提供させていただきよう努めます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1		1	○その時その時に1番必要な支援を受けさせてもらえてる気がする。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	1		2	○いろいろな行事や経験ができ大変満足しています。 ○発達状況はその子その子で違うがみんなができる活動を取り入れてると思う。 ○体を使ったり、手先を使ったりとさまざまな活動が実施されている。	・「5領域の支援プログラム」にありますよう、いろいろな視点からの介入を心掛けています。 ・職員間で日々振り返り、クラス間、他職種間で話し合いを行っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
各務原市福祉の里児童発達支援センター		令和8年3月27日				32	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	2		3	<p>○交流保育は通っている日数が多いからか全てに参加できた。</p> <p>○参加ができていないので分かりませんが、保育園、他事業所の連携をとっても大切にしてくださり保育園での子供の関わり方をご指導していただけます。</p> <p>●まだ入所したばかりでそのような機会がなかったため、もう少し、回数があっても良いなと思う。</p> <p>●木曜金曜のみの利用なので、交流保育のある日が月火水だとなかなか機会に恵まれないと思います。</p>	・地域の保育所等との交流は、令和8年度も継続して計画します。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			2	<p>○されたかもしれないが日々の生活にかき消されている。</p> <p>○十分に丁寧な説明をいただいた。</p>	<p>・たくさんのお知らせがありますので、ご不明な事はお気軽にお声掛けください。</p> <p>・お問い合わせが多い内容は、資料を掲示したり、定期的に文書で配布するなどしています。</p>
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32				<p>○説明されるが先生達の意向に全面的信頼を持っているので大丈夫。</p> <p>○十分に適切な支援内容の説明をいただいた。</p>	<p>・当事業所の支援、計画書の作成にご協力をありがとうございます。信頼していただける事業所であるよう、気持ち新たにしていきたいと思います。</p>
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	2	1	2	<p>・多分参加しているのかな？程度でそこまで気にしていない。</p> <p>○子ども自身やその特性について学ぶ機会がありました。</p> <p>○ほのぼのサークルでゆっくりお話しが出来て嬉しいです。</p> <p>●たんぼ①②クラスで話したいことが変わってきたりしているので、悩みが話せる機会があると、②クラスのママで元気をもらえる方もいるのではないかと思います。</p>	<p>・現在、年少さんのご家族へ、ペアレント・トレーニングの機会を設けています。</p> <p>・月に1回程度ですが、「保護者の会：ほのぼのマザーズ」と「当園職員との情報交換会：きらっとたま」を企画しています。方法や、情報交換の内容については、ご要望を伺い今後の企画内容に活かしていきたいです。</p>
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32				<p>○他の事業所での出来事も共有するようにしている。</p> <p>○よく子どものことを見てくれているので、親が見逃した発達の様子や、こうした方がいいといった子供に応じた対応を教えてもらっている。</p> <p>○毎回1週間何もなかったか確認して下さり、例えば日常の変化について正しい成長段階の出来事だよと教えてくださいます。</p>	<p>・日頃の様子、気になったこと、成長を感じたこと等、お気軽にお知らせください。</p> <p>・また、お子さん、ご家族とつながる関係機関と連携し、よりよい支援に努めます。</p>
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32				<p>・様々なタイミングで声をかけてくださり、大変ありがたく思っております。</p> <p>・連絡帳に〇〇先生の熱意が毎回返ってくるのでその熱量に応えられるように頑張っている。</p>	<p>・子育てノート(連絡帳)へのご協力ありがとうございます。</p> <p>・普段の登園時の他、個別の懇談は年に3回程予定しています。ご希望に応じて、発達相談会や小児科医師の診察などもご利用ください。</p>
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31			1	<p>○どの程度が共感的になるのかわからないが寄り添ってくれている。</p> <p>○職員の方は本当に丁寧に支援いただいています。</p> <p>○担当の保育士さん？以外の方からも会う度に声をかけて頂き子供共に嬉しく成長等の共感もしていただけます。</p>	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	4	1	3	<p>○ババ(は)ほほファミリーデイしか来れないがそれが楽しみだと言っていた。</p> <p>●参加できておらず。普段の療育を家族が参観できるように平日参観日を開催してほしい。</p>	<p>・家族参観は年に2回ほど予定しています。毎回たくさんのご家族が来園して下さりとても感謝しております。日程の調整や、きょうだいさんとも一緒に楽しめる内容を検討し、今後の行事に活かしていきます。</p>

保護者への説明等

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援センター				公表日	令和8年3月27日	
					利用児童数	回収数 32	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1		2	○この前もこの活動やってみたくて言ったら取り組んでくださった。	・個別の相談やご意見をいただく際は、なるべく早く別時間を設けお話しを伺います。 ・活動内容へのご提案ありがとうございます。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29			3	○親でも分からないモヤモヤを先生達が言葉にもらえるのでそこで分かる事もある。	・時間などの都合で、直接お話ができていない時は、子育てノートや電話連絡をさせていただきます。
	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	3		3	・ホームページを見に行っていないが、グループアプリは毎月更新しているのは見ている。	・ホームページにて、月の予定や自己評価等は発信しております。 ・出席や訓練などの事務手続きは、メールや電話でのやり取りをお願いしています。お手数をおかけしますがご協力をお願いします。
	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	2	1		○外には漏れていないと思う ●診察の際に提出した受給者証が返却された時 他人の受給者証を渡された。 また、クラス全員の子供のそれぞれの発達、病名が載っている名簿を親が見れる状況を作るのはやめてほしい。個人情報の取扱いについては甘いという印象しかない。	・個人情報の取り扱いについては、契約時に同意書をいただき大切に管理しています。 しかし、ご意見のように、職員の不注意によりご心配、ご迷惑をおかけしたこと、大変申し訳ございません。職員間で共有し、再発防止に努めております。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1		1		・各マニュアルや規定は施設にあります。保護者への周知が出来ていない箇所はありますので、機会を作り、ご説明させていただきます。 ・月に1回の避難訓練へのご協力ありがとうございます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	2		4	・今年度は夏頃に一度参加したかなーくらいかな。	・月に1回の避難訓練では、主に火災時、年に数回は地震を想定して実施しました。今後いろいろな想定で行います。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32				○他の子に危害を加える前に止めるように気を配ってもらえている	・毎月各部屋の「安全点検」を行い危険箇所を確認しております。また、法人による「職場巡視」にて同様の確認をしています。 ・普段の生活で生じる事故についても、危険予知し、複数の緑陰で声をかけながら安全な環境づくりに努めます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1			○すぐに看護師の先生が来る。	・ケガなどがないように努めますが、センターの各階、または法人内にも看護師が配置されています。医療や保健に関するご相談も、お気軽にお声がけください。
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	32				○信頼しているほど つくし以外通えないと思います。	・ご意見ありがとうございます。そのような言葉をいただけることは、職員も嬉しいです。
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	30			2	○車の中で『先生』と言って早く行けど言われているように感じる。 ○朝とても楽しそうに福祉の里に行っています。 ○担任の先生もだし、STやOTの先生のごとも大好きです。	・気持ちを新たに、お子さんが安心してできる場所、ともに成長していける支援が提供できるよう努めます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	30	2			○どなたもアットホームな環境で受け入れてもらえるので助かる。 ○日々の支援にとっても感謝、成長等の感謝の共感 子供を育てる上での親の気持ちにとっても寄り添って頂き満足です。 ●訓練の振替をできるようにしてほしい。 ●OTも継続的に受けれるようになってほしいと思います。	・訓練の振り替えや実施については、年度ごとに介入方法が違うことがあります。新年度ごとに、改めてご説明いたします。訓練士は各フロアにおりますので、個別訓練時に限らず、相談や質問などお気軽にお声がけください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市福祉の里児童発達支援センター				公表日	令和8年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	7	・空間と人数の点ではよい。 ・人数によってパーティションを開けるなどして広すぎない、狭すぎない空間を作っている。	・部屋が少ない、部屋に物が多い。 ・広い部屋、区切り等、工夫したい。 ・廊下に椅子など乱雑に置かれていて、危険を感じることがあるので、片づけを徹底したい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	11	・人数が多い時はフリーの職員がいると安心。	・経験者がそのクラスのリーダーとなり新しい人へ伝達及び指導して行く点が不足していると感じることがある。 ・よりよい支援のために、職員が増えたと良い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	6		・アプリなど利用してよりスムーズに発信できると良い。 ・構造が古い 死角が多い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	7		・老朽化が目立ってきました。 ・倉庫の中を整理整頓する時間が確保しにくい。 ・室内の手洗い場が使いやすいよう配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	5	・部屋数が少ない中、共有して行っている。	・クールダウンの部屋が乱雑すぎて落ち着かないので、よりよい環境になるよう工夫したい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	4		・日々の業務に追われて、振り返る余裕がないと感じることがある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18		可能な範囲で行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	4		・話し合いがうまくいっている時、そうでない時があるが、全体の意見を聞き取り改善に向かうよう取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	1	・第三者の意見は貴重だと思う。自分たちでは気づかぬ視点でのアドバイスありがたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18		・たくさん勉強させていただいている。	・自ら進んで行える環境、意識が持てるとよい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	1			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援センター		公表日	令和8年3月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18		・日々情報交換、共有して行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	3		・もう少し細やかな打ち合わせをする時間が欲しい。 ・活動前の話し合い、準備のための時間が間に合わないと感じることがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	2		・振り返りは、できてない時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	2		・もう少し積極的に行き来してもいいのではと思う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18			・効果的な介入になるよう方法を検討しながら進めている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	4		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	2		・機会が増えていくと良いかと思います。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市福祉の里児童発達支援センター		公表日		令和8年3月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	2			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	1			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	1			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18			・兄弟間はこれからかもしれません。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15	3		・ネット環境がまだ、充実していない。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	2			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17	1			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18			・看護師が対応している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18			・看護師が中心に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	2			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18			・線引きが難しい	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市福祉の里児童発達支援センター				公表日	令和8年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18				